

手をつなごう

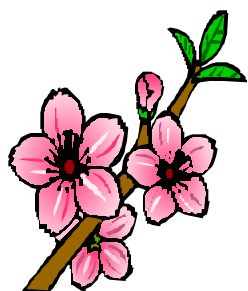
平成19年2月13日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 30

気持ちを伝え合うために —自立活動の取り組みより

お互いの思いや気持ちが少しでもうまく伝え合えるよう、ご家庭で、学校で、また社会の中で様々な工夫をされていることと思います。そこで今回は、自立活動の取り組みをご紹介します。



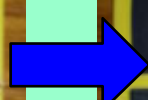
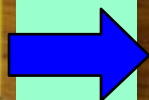
自立活動の時間に限らず、この時間に何をするのか伝えるために、それぞれの理解の仕方に合わせて、スケジュールを提示しています。これは、A君の自立活動の「時間における指導」(個別指導)でのスケジュールですが、学級で使う形と同じようにしています。一番上のカードをとる→黄色の枠の中に貼る→その課題をする→はがしてケースに入れる→次の一番上になったカードを貼る...このスケジュールにより、見通しをもって落ち着いて活動に取り組めるようになりました。



Bさんは家庭でも外出先でも携帯用スケジュールを使う練習をしているため、学校でも携帯用を使っています。

スケジュールもできるだけ一方的な指示ばかりにならないように配慮しています。「あそび」の活動では、複数提示したあそびの中から選択する形にしてスケジュールに取り入れるようにしています。

これは意思を伝えるツールとして使用しているボードです。いくつかのお菓子の写真カードを提示し、二つ選んで貼ります。一つ食べてカードをはがすと、「あと1こ」という文字が見えます。二つめを食べてカードをはがすと、「おわり」という文字が見えます。お菓子を勝手に取ってしまうのではなく、「これが欲しいよ」という気持ちをカードで伝える練習をつみ、また同時に「二つで終わりだよ」というこちらの思いも伝えることができます。「～をください」という文字カードを併用して、話し言葉の指導をする場合もあります。



お互いうまく気持ちを伝え合い、楽しく暮らせると素敵だなと思います。